

医学部、慶應義塾大学病院、大学院医学研究科において新しい執行部が発足しました。新執行部の体制を紹介するとともに、医学部長／医学研究科委員長、病院長の就任挨拶を2面に掲載します。

医学部・病院・医学研究科 新執行部発足



発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会員については会費を
に購読料が含まれる
発行人 武田純三
毎月1回20日発行

三四会ホームページ



信濃町駅前・各種診療
慶應義塾大学病院
外来診療時間
午前8時30分～午後12時
午後1時～午後5時
電話 03(3353)1211(内線64996)

副病院長
(病院運営(入院・病棟管理)、医療連携、医療材料最適化、医師働き方改革)
内科学(呼吸器)教室 教授
福永 興彦
(73回)

副病院長
(病院運営(救急)、BCP、国際対応)
救急医学教室 教授
佐々木 淳一
(68回)

副病院長
(医師のAI活用情報、AI活しどろ)、バイオバンク、予防医療センター-移転協議事業、個人情報保護)
放射線科学(診断)教室 教授
陣崎 雅弘
(66回)

副病院長
(医療安全管理責任者、病院運営(入院・手術))
外科学(心臓血管)教室 教授
志水 秀行
(65回)

病院長
整形外科教室 教授
松本 守雄
(65回)

病院長補佐
(医師働き方改革、医療連携)
外科学(呼吸器)教室 教授
朝倉 啓介
(81回)

病院長補佐
(病棟機能最適化、医療連携)
小児科学教室 教授
鳴海 覚志
(80回)

病院長補佐
(医療安全、医療質向上、臨床倫理)
医学部 准教授
藤澤 大介
(77回)

副病院長
(病院運営(外来)、患者サービス、広報、保険診療、医療質向上)
精神・神経科学教室 教授
内田 裕之
(77回)

副病院長
(臨床研究推進、ダイバーシティ、人材育成・教育研修)
内科学(リウマチ・膠原病)教室 教授
金子 祐子
(76回)

病
院

副医学部長
(イノベーション)
整形外科教室 教授
中村 雅也
(66回)

副医学部長
(広報、塾連携、協生環境)
歯科・口腔外科学教室 教授
中川 種昭
(64相当)

副医学部長
(プロボスト、総務、倫理、学部間連携、未来医療)
衛生学公衆衛生学教室 教授
武林 亨
(68回)

医学部長
内科学(消化器)教室 教授
金井 隆典
(67回)

副医学部長
(研究、新研究領域開拓、病院連携)
内科学(循環器)教室 教授
家田 真樹
(74回)

副医学部長
(若手人材育成、基礎医学改革、大学院連携)
解剖学教室 教授
久保田 義顕
(79回)

副医学部長
(教育、学部教育改革、国際)
医学教育統括センター 教授
門川 俊明
(70回)



令和5年度三四会全国支部長会は、9月30日(土)18時からオンライン(Zoom)で開催され、約180名が参加しました。新執行部の体制紹介や、各支部の報告が行われ、伊藤公平塾長による挨拶が行われました。



伊藤公平塾長は、挨拶の中で「慶應義塾の歴史を築き上げた先人たちの志を継ぎ、未来を担っていくことが、我々の使命である」と述べ、各支部の発展を期待しました。



会場の最後は、各支部の代表者が参加し、伊藤塾長と肩を組んで「若き血」を斉唱しました。

港区版ふるさと納税×慶應義塾について
9月末に開催された三四会全国支部長会議において、伊藤公平塾長による「慶應義塾 ふるさと納税」についてのお願いスピーチがありました。港区へのふるさと納税を通して、慶應義塾を支援できるという仕組みです。港区への寄付金の7割が、慶應義塾への補助金として交付されるのです。今年の4月初めに送られてきたハガキには、手続きのためのQRコードが貼ってありました。半年前のハガキをなくしてしまった方も心配はいりません。PCなどで「慶應義塾 ふるさと」と検索すれば、慶應義塾基金のふるさと納税のページが出てきます。塾長からのメッセージ動画とともに、申し込みボタンが画面の下に現れます。ボタンをクリックすると、Googleフォームでの申請ページにつながります。申請すれば、2週間ほどで港区から納付書が送られてきます。納付書で入金すると、領収証が港区から送られてきます。返礼品はありません。三田評論への掲載もありません。三田がある港区への寄付ですが、慶應義塾への補助金となって、塾生のために使われます。医学部の生徒のために活用されますので、ご安心ください。三四会のみさまのご協力をお願いいたします。(近藤太郎 68回)

伊藤公平塾長は、挨拶の中で「慶應義塾の歴史を築き上げた先人たちの志を継ぎ、未来を担っていくことが、我々の使命である」と述べ、各支部の発展を期待しました。

青森から沖縄まで32名の支部長が参加

令和5年度三四会全国支部長会は、9月30日(土)18時からオンライン(Zoom)で開催され、約180名が参加しました。新執行部の体制紹介や、各支部の報告が行われ、伊藤公平塾長による挨拶が行われました。

三四会全国支部長会開催

健康医療領域におけるAIの活用は、その重要性が声高に指摘される一方で、他領域と比較して担い手となる人材育成が十分に進んでいません。AI人材と健康医療従事者の垣根は大きく、実用化に向けた取り組みも進んでいないのが現状です。慶應義塾大学は、産官民連携によるAI人材育成を推進し、健康医療AI人材育成事業として2023年9月「健康医療AI人材育成プログラム(MAP)ハッカソン」を開催しました。

患者さん一人ひとりの事例を AIを用いて丁寧に扱う

石川哲朗 榎田一洋(石井橋記念講座 拡張知能医学) AIを用いて丁寧に扱う。AIを用いて丁寧に扱う。AIを用いて丁寧に扱う。

MAPハッカソン 2023

MAPハッカソン 2023。健康医療領域におけるAIの活用は、その重要性が声高に指摘される一方で、他領域と比較して担い手となる人材育成が十分に進んでいないのが現状です。慶應義塾大学は、産官民連携によるAI人材育成を推進し、健康医療AI人材育成事業として2023年9月「健康医療AI人材育成プログラム(MAP)ハッカソン」を開催しました。

私たちが目指しているのは、産官民の力を結集したヘルソコムズの実現です。ヘルソコムズは、ヘルソコムズの実現です。ヘルソコムズの実現です。